



全公務員に向けた著者最後のメッセージ

「危機管理」という言葉を提唱し、普及させた著者による最後の危機管理・リーダー論。

東大安田講堂事件、連合赤軍あさま山荘事件等の歴史に残る重大事件処理を警察の最前線で指揮してきた経験をもとに、現場のリーダーが心得るべきことをまとめています。

目次を見ると「人の使い方」「陣頭指揮」「決断」「信賞必罰」と勇ましい単語が並んでいるが、内容はすべての組織人が日常業務で役立つことばかり。

数々の修羅場を乗り越えた著者のノウハウが余すところなく収録され、まさに集大成となっている。部下を持つ人にはもちろんお薦めだが、上司に不満を持つ人も円滑に業務を進める術を見いだせる一冊。

**定本 危機管理**  
我が経験とノウハウ  
佐々淳行・著  
ぎょうせい / 2300円＋税  
0120-953-431



学校・地域・保護者が一体となった取組みの軌跡

**「コミュニティ・スクールの底力 共育基盤形成9年の軌跡」**  
「必要」から「必然」へ  
春日市教育委員会 / 春日市立小中学校・編著  
北大路書房 / 1800円＋税  
075-431-0361

コミュニティ・スクールを導入してから10年目を迎える福岡県春日市。全国から多くの視察者が訪れているという。地域住民とともに「共育」を進めてきた取組みの軌跡を振り返り、見えてきたことや今後の課題などを総括した。小中学校での実践事例も多数盛り込まれている。

第1章では、大学、校長、保護者、地域とそれぞれの立場から関係者がコミュニティ・スクールの魅力を語る。第2章では、コミュニティ・スクールが目指すものや推進のための組織、充実に向けた留意点など、9年の歩みで編み出したコミュニティ・スクール論を展開。第3章では、大きな成果を上げている各学校や地域、家庭での連携事例を紹介する。



地方の豊かさを仕事にする起業家たちの挑戦

**美味しい田舎のつくりかた**  
金丸弘美・著  
学芸出版社 / 1800円＋税  
075-343-0811

全国1000の農山漁村を訪れ、地方の豊かさを仕事にする起業家たちの挑戦取材している著者。小誌連載「食と地域の旅日記」でもお馴染みだ。そこには、にしかない地域の価値を形にし、小さな規模でお客さんに届ける。生産と消費をつなぎ、地方の仕事を生み出し、自らの営みで地域活性化に貢献している。

里山の牧場に行列ができる絶品ジェラートが人気の池田牧場（滋賀県東近江市）、均一化された市場に個性豊かな野菜で挑むコスモファーム（香川県高松市）など10の起業家が登場。人口減少と高齢化が進行し、市場も縮小する状況の中、日本の未来を明るく照らす指針となる。安倍晋三首相の夫人である昭恵氏も推薦！



財務書類「新基準」の全体図がわかる！

**ポイント解説 新地方公会計 財務書類作成統一基準**  
鈴木豊・編著  
ぎょうせい / 2600円＋税  
0120-953-431

今年4月、総務省から、財務書類作成にあたっての統一な基準が通知された。

自治体は、06年度から財務書類を作成している。しかし、総務省が示した基準には「改訂モデル」「基準モデル」の二つがあり、先行していた東京都の方式等も認められた。複数の作成基準が存在するため、団体間比較が難しい等の問題点が指摘され、今回、統一基準が作られた。

この統一基準は、複数ある既存モデルのどれとも異なる。各モデルの良い点は引き継ぎ、課題は克服してつくり上げられた「全く新しい」ものだ。自治体は、遅くとも17年度（16年度決算）から、統一基準で財務書類を作成することとなる。事前準備として読んでおきたい。

